

原子力エネルギーに頼らない社会を目指して

活動内容

チェルノブイリ原発事故で被災した人々への支援活動を行う。これまでに、被災地域の病院へ医薬品や医療機器、粉ミルクの提供を行ってきた。また、汚染された土壌の放射性物質除去とバイオディーゼル油・バイオガス生産をする『菜の花プロジェクト』を行っている。毎年年末には、被災地の子どもたちを励ますため、クリスマスカードを贈る活動も行っている。現在は福島第一原発事故被災者支援も行っている。

活動の背景、活動への思い

チェルノブイリ原発事故の後、放射能被害を憂慮した中部地方の人々が「何かできることはないか」と集まり、団体を発足。具体的な援助を開始するためウクライナ各地に手紙を出し、最初に返信のあったウクライナの地方新聞社を現地パートナーとして、救援活動を始めた。「チェルノブイリや福島の原発事故の被害状況を見ると、脱原発を掲げざるを得ない。今後も原子力に頼らない再生可能なエネルギーを拡げていきたい」と理事。

募集中!

ボランティアを常時募集している。活動内容は、フリーマーケットなどイベントのお手伝いや、機関誌の発送作業など。毎年12月頃には、たくさんの手作りクリスマスカードを募りウクライナへ発送するので、一緒にカードの発送作業をしたいという人は連絡を。



概要

法人認証年月日 / 2000年2月21日
主な活動分野 / 災害救援
従たる活動分野 / 保健・医療・福祉、国際協力

→ 連絡先

〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞3-8-10
愛知労働文化センター内

TEL 052-732-7172 月・水・金 10:00 ~ 17:00

FAX 052-732-7172

E-mail chqchubu@muc.biglobe.ne.jp

URL <http://www.chernobyl-chubu-jp.org>

防災意識向上と地域ので、いのちと暮らしを守る

活動内容

1. 地域の防災力向上のため、バケツリレーなどを取り入れた防災運動会や、体育館での寝泊りや炊き出しといった避難所生活の体験学習などを企画・運営している。楽しむ要素を取り入れることで、参加者の積極性や継続性を促している。
2. 被災地では清掃や瓦礫撤去作業のほか、喫茶や足湯の開設により人々の声を聴き、やすく場を提供している。その中で対話を通じて、個々が必要としているものを聞き取り、支援に活かしている。

活動の背景、活動への思い

阪神・淡路大震災の際にボランティア活動に参加した人たちが、「震災の教訓を活かして東海・東南海・南海地震などに備えるべき」との意識の高まりを受けて設立した。「震災後時間が経つにつれて、人々の関心は薄れていってしまう。震災から得た教訓を無駄にしないためにも、日頃から一人ひとりの防災意識や地域の防災力を高めるための活動を行っている。災害時には被災された方一人ひとりの声を大切に、丁寧な支援を行っている」とのこと。

募集中!

震災の支援金は現地の物資や復興に活用されるが、今後の息の長い支援活動にかかわる、現地に常駐または後方支援を行う職員の人件費や、東海・東南海・南海地震などの災害に備える活動を継続的に行うための費用として、寄付金が必要不可欠。団体の理念を反映する、本当に必要なことに使うための寄付金も随時募集している。



概要

法人認証年月日 / 2002年2月27日
 主な活動分野 / 災害救援
 従たる活動分野 / まちづくり、環境保全

→ 連絡先

〒461-0001 名古屋市東区泉1-13-34 名建協2F

TEL 052-253-7550 平日 10:00 ~ 18:00

FAX 052-253-7552

E-mail info@rsy-nagoya.com

URL <http://rsy-nagoya.com/>